

No.	
お名前（非公開）	
所属学部/研究科	国際商経学部
所属学科または専攻	グローバルビジネスコース
学年	その他
留学開始時の学年	4年生
留学先大学	ルーマニア・アメリカ大学（ルーマニア）
留学先所属学部/研究科	international business course
留学開始日	2022-09-26
留学終了日	2023-07-14
1. 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	新たな協定校としてルーマニアの大学が追加されたと聞いて興味を持ったから。
2. 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	IELTSの受験のためのテキストの演習
1. ビザの種類	residence permit
2. ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	（ルーマニア入国後に現地で申請） パスポートのコピー、ADEVERINTA（現地で大学から配布） acceptance letter
3. ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	ルーマニア移民局・ブカレスト ①事前に移民局公式のオンラインフォームに必要書類や個人情報をアップロードする ②申請後1週間程度で移民局から予約日時が指定されたメールが送信される ③予約日時に必要書類のコピーを持参し、移民局の窓口で手続きを行なう。 ④手続きから約1ヶ月後、再度移民局に行ってVISAを受け取る
4. 面接の有無	なし
5. ビザ発行までの日数	約1ヶ月
6. ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	ADEVERINTAを大学から受け取るのが遅れたため、滞在可能日数の90日を超過しそうになったこと。
7. 荷物を別送しましたか？	いいえ
8. 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	
9. 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	
10-1. 日本から持参してよかったもの	常備薬（風邪薬、痛み止め、トローチ、胃薬） スキンケア用品 食料（粉末スープ、カップラーメン、乾燥はるさめ、サラダドレッシング） 歯磨き粉（海外製の歯磨き粉は刺激が強すぎたため） トラベル用品（携帯用歯磨き、携帯スリッパ） 洗濯用ロープ、ピンチハンガー、S字フック 変換プラグ、電源タップ フォーマルな場面で使える服や靴
10-2. 日本から持参する必要がなかったもの	大量の服（現地で購入出来るから） 冬用のコート（帰国の際に荷物の重量制限で持ち帰ることが出来なかったため、現地で買ったコートをボロボロになるまで着用し、廃棄しました）
11. その他、渡航までに行った準備や手続きがあれば教えてください。（予防接種、健康診断、携帯電話等）	特になし

1. 利用フライト	乗継便
2. 航空会社・往路便名	往路・カタール航空 復路・インディアン航空、スクート航空
3. 現地空港到着時間	午後（12：00～17：00）
4-1. 大学からの送迎	無
4-2. 有の場合、料金	
4-3. 現地空港から自分で移動した人は、現地空港から大学までの移動方法、所要時間、交通費を教えてください。	ARRIVAL GATEの出口前から発着するローカルバス（783番）に乗りします。乗車チケットを購入する必要はありません。乗車後、車内でキャッシュレスで支払う事が出来ます。金額は3lei（約90円）です。最寄りのバス停（piata pressei）まで30分ほど乗車し、そのあと大学まで15分ほど歩きます。
5. 渡航にあたっての注意点、アドバイスがあれば教えてください。	学生寮の管理人が平日の10時～17時頃までしか勤務していません。その他の時間に到着すると、連絡が取れず、部屋に案内してもらえない可能性があります。（実際に私の友人は管理人と連絡が取れず、共有ロビーで一晩を過ごしたと言っていました。）
1. 入国するにあたって、準備したこと	無し
2. 入国後の隔離措置など	無し
1. 種類	学生寮
2. 形態	ベッドルームのシェア
3-1. 部屋の詳細	専有面積（㎡）：14平方メートル 何人部屋：3人部屋
3-2. ルームメイト	他国の学生（交換留学生等）
3-3. ルームメイトの国籍	秋学期；カザフスタン人 春学期；モルドバ人
3-4. 自室の設備	収納（クローゼット） 机 椅子 ベッド インターネット設備（無線） 書棚 冷蔵庫 暖房器具 トイレ シャワー 洗面台
3-5. 共有部分の設備	エレベーター 共有スペース Wi-Fi テレビ ソファ トイレ 洗面台 洗濯機 乾燥機
4. 居住環境、衛生状態など	部屋は清潔感がありました。学生寮内に洗濯施設はありませんが、徒歩5分の隣の建物にあるランドリーを利用していました。1回200円で利用出来る洗濯機と、300円で利用出来る乾燥機もあります。24時間利用でき、支払いは現金とキャッシュレスに対応していました。
5. 滞在先から大学へのアクセス	大学と学生寮は隣接しています。
6-1. 普段の食事の状況	学内（食堂、カフェ等） 自炊
6-2. 上記の中で一番多く利用したもの	自炊
6-3. 食事についてのアドバイス	大学の食堂はメニューが充実していません。ポテトとフライドチキン、簡素なサラダしかなく、メニューは毎日ほとんど同じです。私は日本人留学生でお金を出し合って購入した電子レンジで自炊していました。後期はルームメイトの調理器具を借りる事もありました。寮から10分歩いた場所にスーパーがあるので、そこで食料の買い出しをしてました。
1. 現地大学到着時/後に行った手続き	入寮 学生証発行 滞在許可申請（入国ビザの延長等）

2-1. 渡航国の銀行口座の開設	無
2-2. 有の場合、銀行名	
3. 入国時、持参した現金額	～10万円
4-1. 日本から持参したカード	クレジットカード デビットカード
4-2. カードの内訳	クレジットカード1枚、デビットカード2枚
5-1. 主に利用した支払い手段	現金 クレジットカード デビットカード
5-2. 最も利用した支払い手段	デビットカード
6. お金の持参方法や、支払い手段、管理等のアドバイスがあればお願いします。	最初に日本から現金7万円を持参しユーロに交換しました。そのほかはクレジットカードのタッチレス決済で支払うことがほとんどでした。
7. 学内施設（生活関連施設）	その他:無し
8-1. 渡航先での携帯電話使用について	日本から持参したものを使用（現地のSIMを利用）
8-2. 渡航先での携帯電話・インターネット使用について特記事項があれば記入してください	現地でプリペイドSIMカードを購入しました。1ヶ月50GBで1000円で利用することが出来ます。学生寮全体で無線のWIFIがありますが、部屋や時間帯によって使えないこともありました。
1. 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について	留学生はどの学部の授業でも受講することが出来ます。
2-1. オリエンテーションの有無	有
2-2. オリエンテーションの参加	必須
2-3. オリエンテーションの内容	授業のスケジュールや履修登録の詳細な説明 ブカレストでの過ごし方
3-1. 履修登録のタイミング	出発前 到着後
3-2. 登録方法について	大学から送られてくるオンラインフォームで登録します。 開講後1週間はトライアル期間で授業の変更は可能ですが、1回目の授業から出席必須な授業の存在していたため、注意が必要です。
4-1. 授業について	1コマの時間:80分 1週間の授業コマ数:8コマ
4-2. 授業を理解して受けるための努力や工夫したこと	同じ授業に出席する現地の友達を作る事です。授業やテストの情報を共有してもらえるので、単位取得にも繋がります。
4-3. 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。	履修登録の段階では、授業名のリストから授業を選択します。そして授業が開講される当日に授業スケジュールが公開されるので、登録した授業の重複などを調節する必要があります。
5. 学修面で受けられるサポートと利用状況	teamsを利用して授業資料の配付や課題の提出を行ないます。
1. 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？	主に授業のディスカッションを通して現地の学生と交流を深めました。他には、学生寮で知り合った人と共有ロビーで会話したりカードゲームをして交流していました。
2. クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。	日本文化について興味を持っている学生によるサークルがありました。そのサークルの教授が様々なゲストを大学に招待してイベントを行っていたり、文化交流イベントにも積極的に参加し、日本人もそれに参加する形でワークショップを行なう事もありました。 またブカレスト内で日本人のコミュニティもあり、大学付近の施設で毎週バトントンを行なっていました。年末には忘年会を行なうなど、様々なイベントが行なわれています。
3. 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？	現地の学生と電車を利用して市外へ出かけたり、時には国外へ旅行していました。

4. 留学中に就職活動をした人は、どのようなことをしたか教えてください。	日本企業への就職活動を行っていました。日本国内の学生と同様にオンラインで説明会や面接に参加していました。最終面接は対応している企業がほとんどでしたが、オンラインでの面接に対応してもらっていました。
5. 現地の生活に役立つ情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。	
1-1. 合計費用	100万円
1-2. 留学費用内訳	渡航費:20万円 保険代:11.5万円 医療費:0円 食費（1ヶ月あたり）:1万円 家賃（1ヶ月あたり）:2万円 雑費（日用品等）:1万円 通信費（1ヶ月あたり）:1000円 テキスト:0円 その他:0円
1-3. その他の内訳	
2-1. 奨学金の受給	無
2-2. 有の場合、奨学金名と金額（1ヶ月あたり）	
2-3. 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	
1. 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください	
2-1. 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありますか	はい
2-2. 体調を崩した際、どのように対処しましたか。	日本から持参した常備薬を服用していました。
3-1. 留学中に病院に通いましたか？	いいえ
3-2. 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	
4-1. 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	はい
4-2. 落ち込んだ時、留学先で誰に相談しましたか？	両親や友人
4-3. 落ち込んだ時や、ふさぎ込んだ時のアドバイスがあれば教えてください。	語学や授業でのことで自身のふがいなさや知識不足に悔しい思いをすることは何度もありましたが、何度も再チャレンジする機会があるので、一度の失敗で塞ぎ込むのではなく、成長の糧にするという意識が大切だと思いました。
5. 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	ドイツの旅行中にカバンを盗まれた事がありました。
6. 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知っておくほうがいいことがあれば、教えてください。	ルーマニアではチップの文化があるようでしたが、店から求められることは無かったので、気持ち次第だと思いました。
7. 出発前に県大や留学先から提供してほしかった情報があれば、教えてください。	

1-1. 卒業予定年月	2024年3月
1-2. 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業（修了）までの予定を教えてください。	
2. 今後の目標、進路について教えてください。（留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください）	留学中の就職活動中に内定をいただけた企業に就職します。
3. 留學生活の感想と、留学前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。	留学前は、大学4年という遅い時期の留学に漠然とした不安がありましたが、海外の学生と交流するうちに年齢や学年は大きな問題ではないと感じました。それよりも、自分が興味があること、挑戦したいことに思い切って挑戦することが大切だと感じました。
4. 次に留学する人へのメッセージ	自ら積極的に行動することが一番大切だと感じました。どのような人間関係を構築し、誰と過ごすかによって毎日の生活が大きく異なります。自分次第で留學生活を楽しむ可能性は無限にあるので、何事にも挑戦する気持ちを持つことが大切だと思います。また、私は留學中に就職活動を行い、留學中に学んだことや、新たに得た視野を活かして内定をいただく事が出来ました。留學に挑戦するにあたって、時期やタイミングで悩んでいる人は、ぜひ思い切って挑戦してみてくださいと思います。

